

第20回

郷土の文化 拓本展

令和3年 2月21日（日）～3月14日（日）



拓本（たくほん）とは、石碑や器物などに刻まれた文字・文様を墨で紙に写し取るものです。版面に紙を当て、水を刷いて密着させた後、墨を湿した「たんぽ」で上からたたいて、文字や絵を表します。

この展示は、高松市香南歴史民俗郷土館の講座「拓本と表装を楽しむ」受講生と香南拓本会による拓本作品展です。今回の「郷土の文化 拓本展」のテーマは「万葉歌」・「種田山頭火」。香川県内の文学碑や記念碑の拓本をとり、自ら軸物に表装した作品を展示します。

心静かな幽玄の空間に、是非お越しく下さい。

高松市香南歴史民俗郷土館

〒761-1402 香川県高松市香南町由佐253番地1

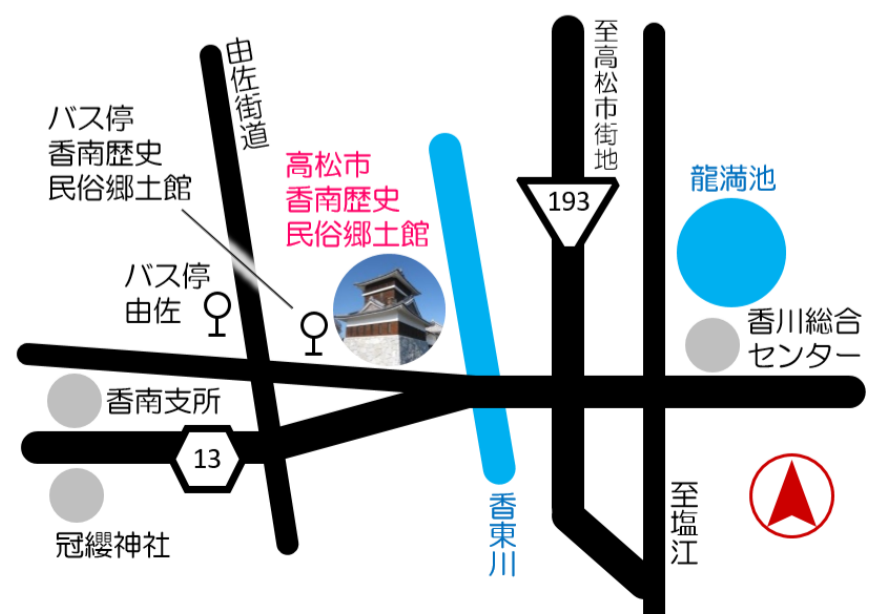
開催時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

※最終日は午後3時までの開催

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

観覧料：無料

電話：087-879-0717



たくほん

関連講座「拓本を体験しよう」

拓本をとる工程を実際に体験できます。気軽に御参加ください！

日時：令和3年 2月27日（土） 午後1時30分から3時まで

場所：高松市香南歴史民俗郷土館 第1研修室

講師：きた しょうらい喜田 松磊 氏（講座「拓本と表装を楽しむ」講師）

定員：先着10名

参加料：無料

申込み：2月26日（金）までに電話で香南歴史民俗郷土館へ



ひょうそう

うらうち

関連講座「表装体験 裏打をしよう」

「裏打」は、本紙を補強するために裏側に和紙を貼る表装技術です。2月27日の講座「拓本を体験しよう」とあわせて参加することで、自ら採拓した拓本作品の裏打ができます。

日時：令和3年 3月6日（土） 午後1時30分から3時まで

場所：高松市香南歴史民俗郷土館 第1研修室

講師：香南拓本会 会員

定員：先着10名

参加料：無料

申込み：2月26日（金）までに電話で香南歴史民俗郷土館へ



※新型コロナウイルスの感染状況により、会期及び内容が変更になる場合があります。

御観覧の際には、検温等、当館が実施する感染予防対策に御協力いただきますようお願いいたします。

COCOA（新型コロナウイルス接触確認アプリ）やLINEアプリ『かがわコロナお知らせシステム』を御活用ください。

